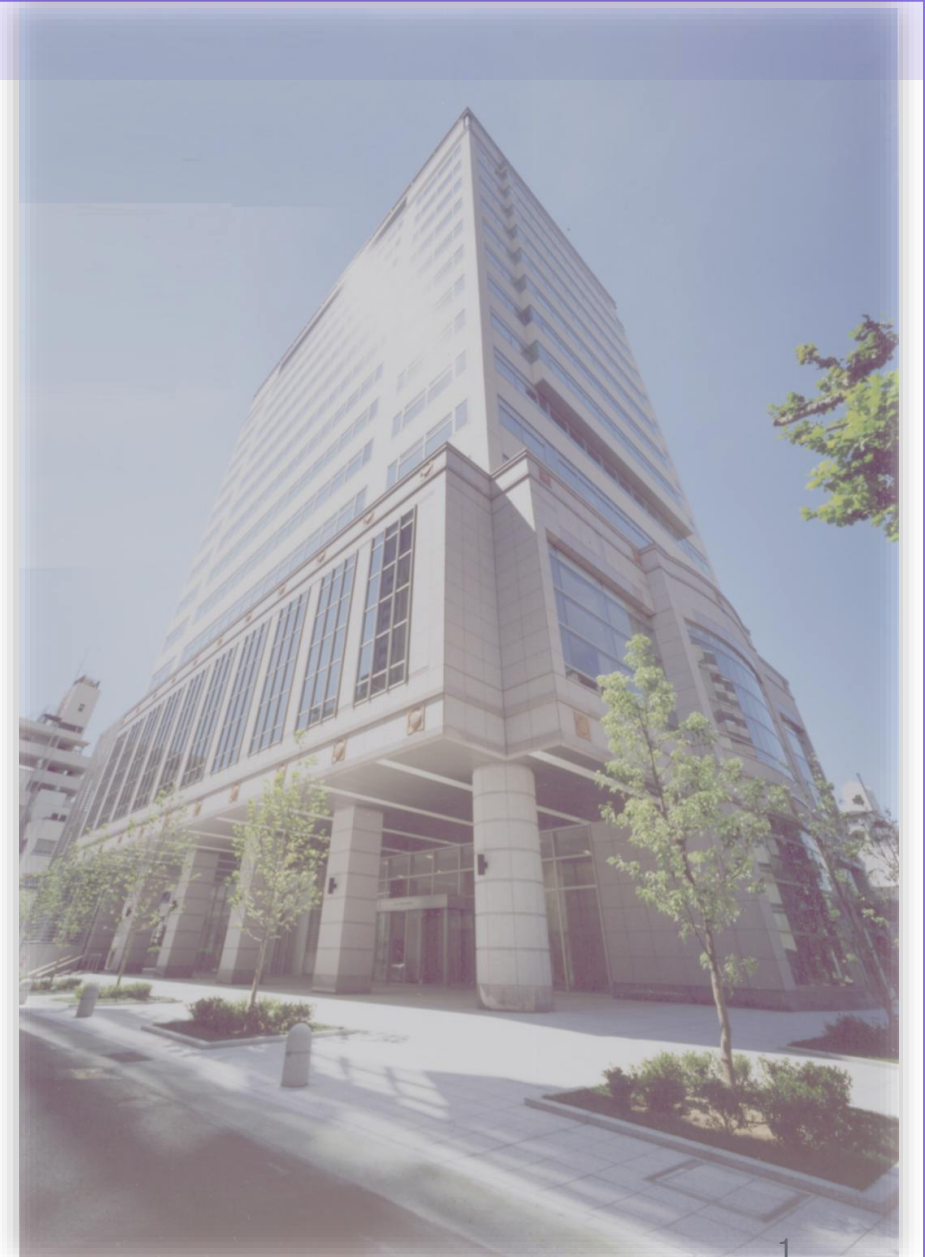


令和8年度一般社団法人兵庫県助産師会
定時総会
2026.6.7

今、助産師に期待すること

公益社団法人兵庫県看護協会
会長 丸山美津子



1

兵庫県周産期医療（R6）

| | | |
|---------|--------|---------------|
| 出生数 | 30,490 | （令和5年 32,615） |
| 低体重児出生率 | 10.1% | （令和5年 9.5%） |
| 周産期死亡率 | 3.9% | （令和5年 2.6%） |
| 無痛分娩件数 | 2,418 | （令和5年 2,195） |

- ・ 分娩取り扱い施設数75：病院36、診療所39
⇒ 無痛分娩取り扱い：10病院、9診療所

周産期医療

- 母体・新生児搬送受入れ体制の整備
 - ・ 周産期医療情報システム
 - ・ 精神科疾患合併妊婦への対応体制の整備
 - ・ 搬送コーディネーター機能
- 災害・新興感染症への対応

現状と課題

- 分娩休止や混合病棟化により助産業務に従事できない⇒**分娩取扱い施設の集約化**
- ハイリスク妊婦の割合が高く、分娩介助等の実績を積むのが困難
- メンタルヘルスを含む妊産婦のケアニーズが多様化⇒**助産師の資質向上**
- R6年度実態調査：院内助産7，助産外来19、産後ケア30/54病院⇒**助産師の活用推進**

兵庫県看護協会 院内助産所等開設支援事業 【研修】

- 妊娠期から始める骨盤ケア：14/20
- チームで乗り切ろう!! 分娩各期のリスク対応 18/20
- 妊産婦の生活と育児に寄り添うメンタルヘルスケア：24/20

・参加者↓
1～5年目

受講生のニーズ、内容
⇒助産師会とのコラボレーション？

日本看護協会 令和7年度 助産師職能委員会活動

1. 母子のための地域包括ケア病棟の推進に関する意見集約・課題発見
 - ・「出産なび」を活用した各都道府県別「母子のための地域包括ケア病棟」の4機能(院内助産・助産師外来、産科関連病棟におけるユニットマネジメント、医療機関における産後ケア事業、地域連携)の現状把握、意見交換、地域の状況に応じた課題や好事例の共有
2. 助産師の活躍推進に関する意見集約・課題発見
 - ・地域における助産師の活躍推進、役割発揮に向けた意見集約・課題発見



「地域で、母子のための地域包括ケアシステム」の推進

- ・分娩施設集約化に伴う、セミオープンシステムを活用した分娩支援：140施設（4.3%）/全国
- ・産科病棟の混合化→キャリアローテーション

今後の課題

- 「出産なび」で申請している内容について、質を落とさないようにする。提示していない項目は提示できるように取組み、発信していく。
- スタッフが施設外（外部）に出ることの課題を明確にする。
- 助産師外来を開設している施設の力が落ちないように、どのような支援が必要か明らかにする。
- 助産師の能力は確保しつつ、助産師が細く長く生き続ける方法を見出す。

アドバンス助産師 新規取得・更新者減少

- 取得しても、地位や報酬（手当等）に反映されないため、更新申請費用だけがかかり、魅力と感しない人が多い

病院での助産師平均人数29.7人うちアドバンス助産師平均6.4人（2025年）

- 分娩数が減少している中で、実習生増加。新人助産師と学生で分娩件数の取り合い⇒要件達成困難

質の確保、保証

母子のための地域包括ケア病棟

- 宿泊型ニーズ増加⇒メンタルサポート体制、
精神科医師との連携

父親のうつ
父親の孤立

- 産後ケア

- 医療的ケア児

保健師との連携

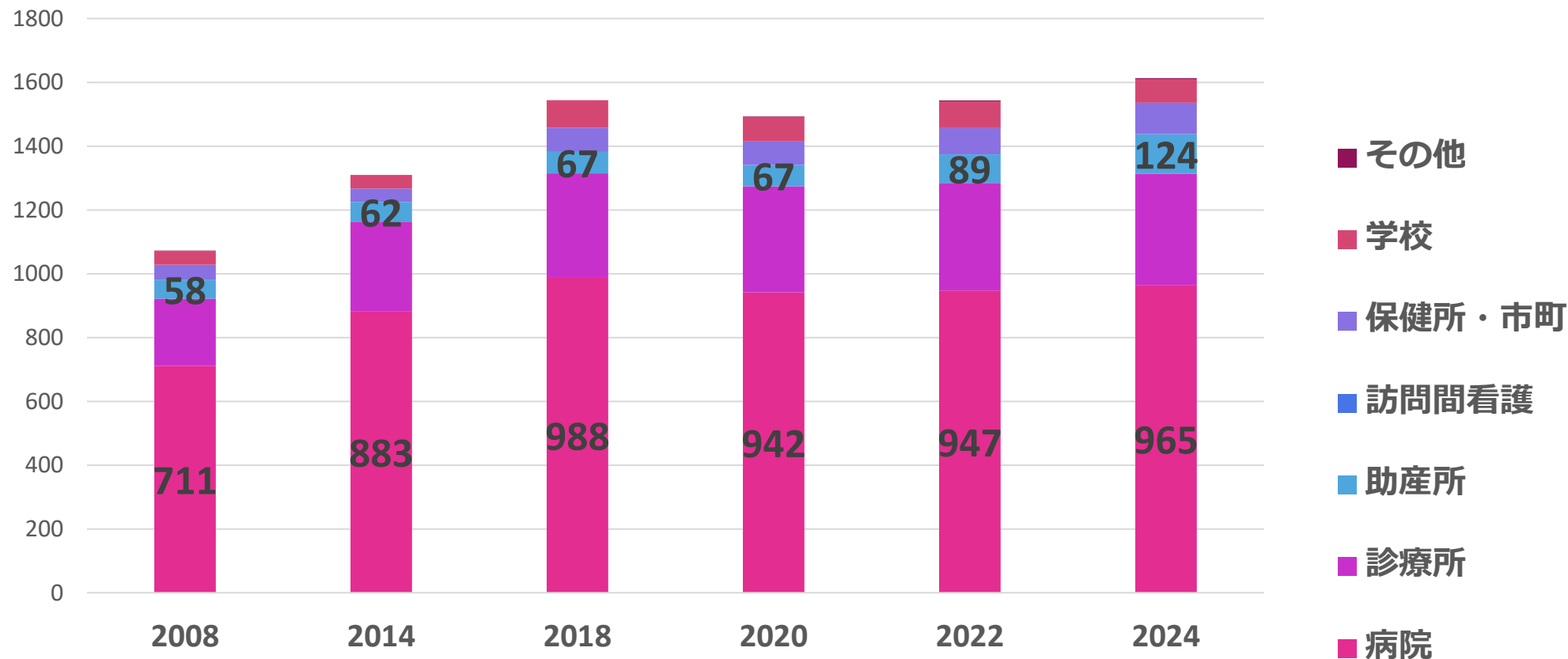
- 自治体の支援

保健センター（相談、訪問）

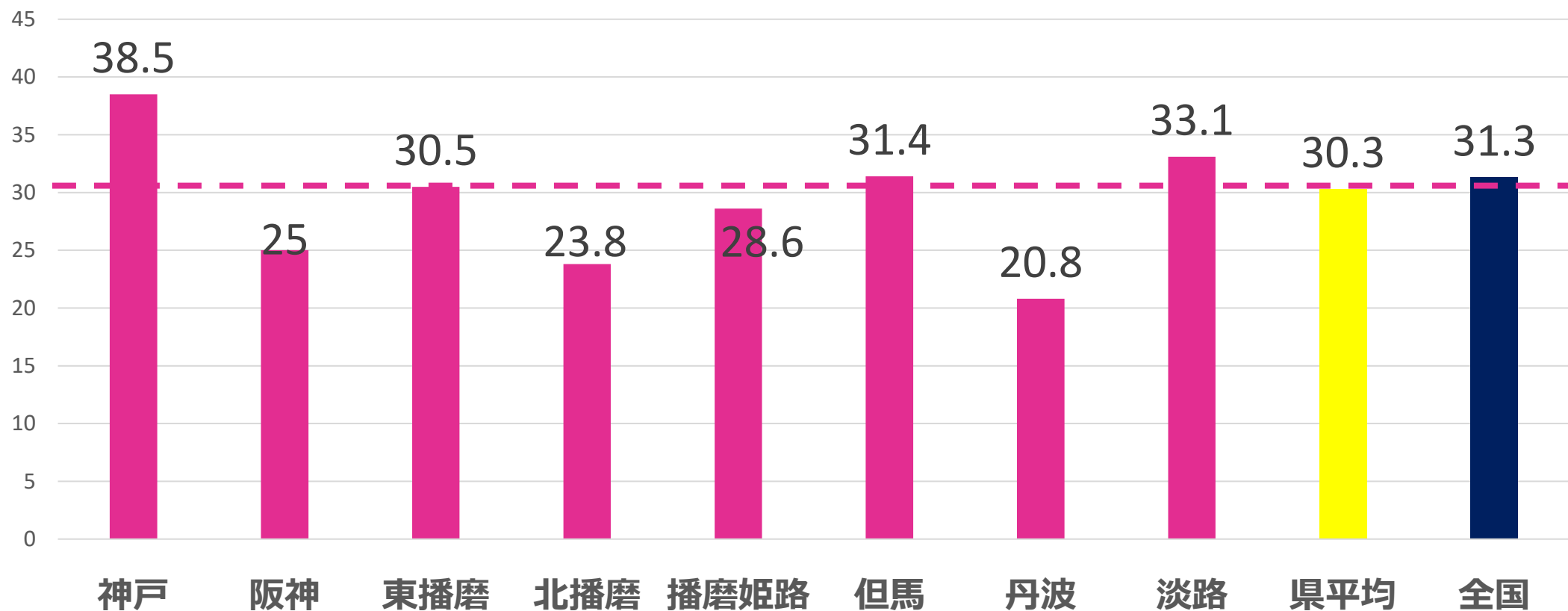
- 助産師の活躍の場、役割拡大のチャンス

就業場所別助産師数

助産師の就業場所は、59.8%が病院（965人）、21.6%が診療所（348人）、7.7%が助産所（124人）



圏域別の助産師数（10万人対）



第8次兵庫県保健医療計画（助産師） 推進方策・目標

1) 助産師の確保及び資質向上

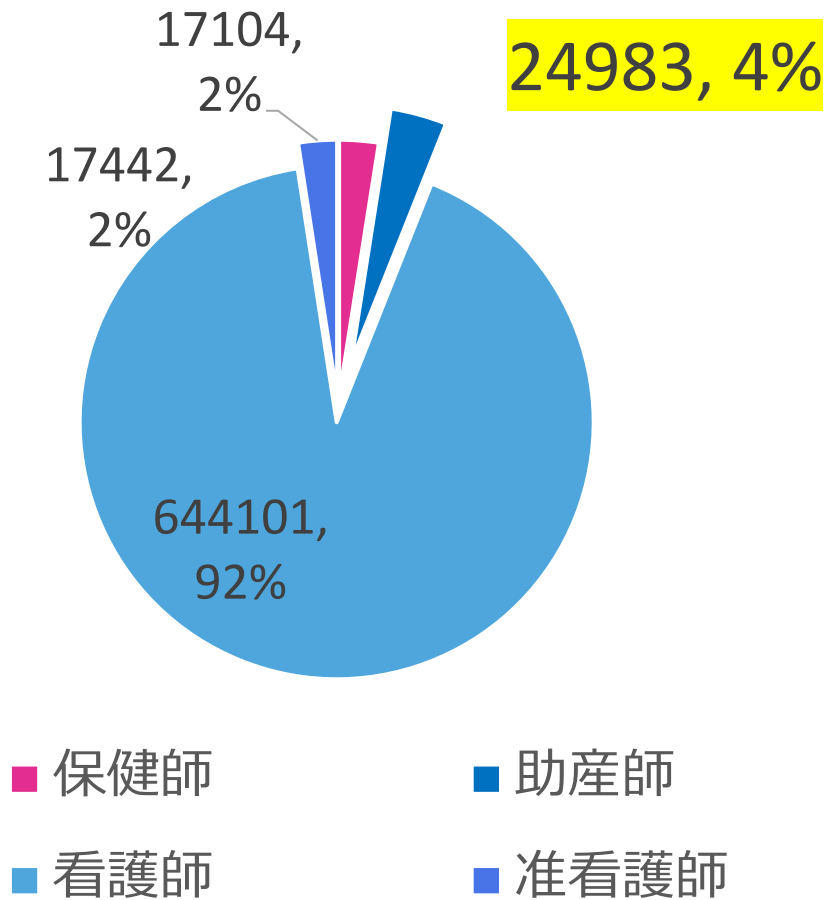
- ① アドバンス助産師等、専門的かつ質の高い助産師の確保
- ② 助産師の資質向上に関する事業や研修の実施
- ③ 妊産婦のメンタルヘルス対策を実施できる体制の整備

2) 助産師活用促進の体制整備

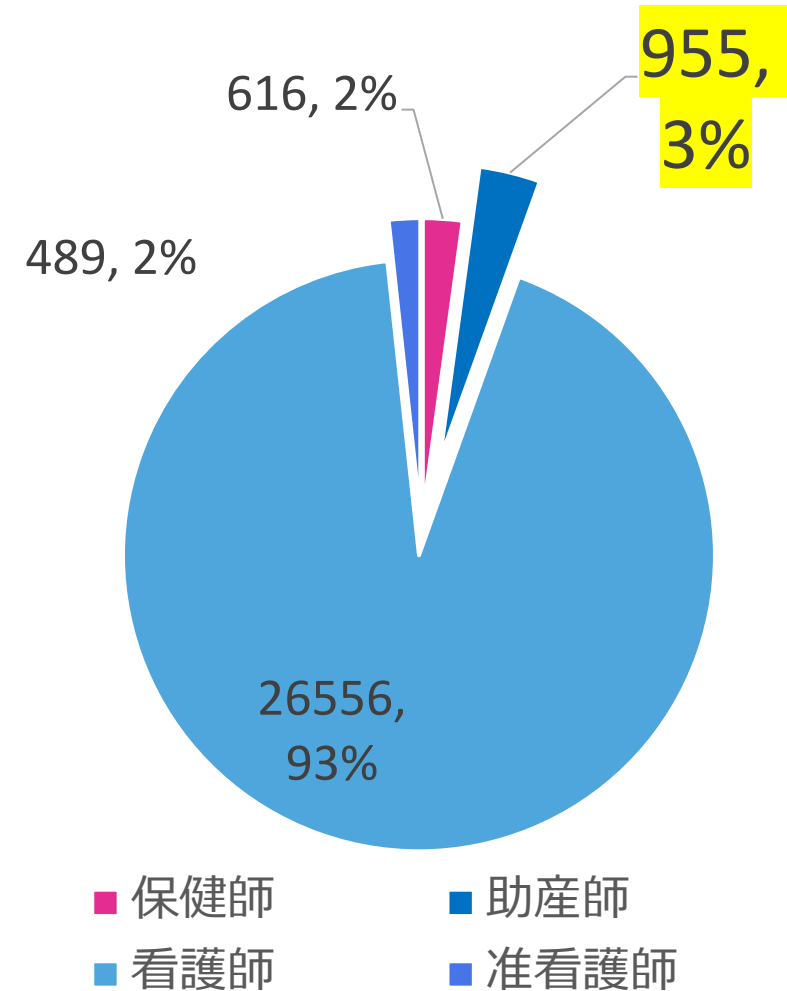
- ① 院内助産・助産師外来を設置する産科病院及び診療所への体制整備に必要な経費の補助
- ② 保健指導や産前産後ケアの実施による助産実践能力の向上

2025年度日本看護協会会員状況 (2026.2)

全国



兵庫県



子育て支援→地域で育てる

- 高齢者との交流⇒高齢者の知恵を拝借
- 地域の活性化
- 子育てへの不安軽減
- 子どもの見守り、しつけ

助産師に期待すること プレコンセプションケア

- 女性のライフサポーター⇒何が必要か、何ができるか、何がしたいか「考える」
- 助産師としての役割拡大⇒タスクシフト・シェアの中で、この機会をどうとらえ、活かすか
- 能動的、主体的活動
- 看護師経験を活かす⇒妊産婦の高齢化、生活習慣病等々におけるハイリスク妊婦への対応
- **※看護職へのサポート**

「自信と誇り」